

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【公開番号】特開2007-28188(P2007-28188A)

【公開日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-004

【出願番号】特願2005-207235(P2005-207235)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 E

H 0 4 N 5/225 Z

H 0 4 N 5/91 L

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月12日(2008.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線通信手段によって画像データを外部に無線送信可能なカメラと、  
上記カメラを収納可能な第 1 の防水プロテクタと、  
上記カメラにより送信された画像データを受信して、記録可能なデータ記録手段と、  
上記データ記録手段を収納可能であり、上記第 1 の防水プロテクタに対して着脱自在な  
第 2 の防水プロテクタと、  
上記画像データの無線送信のために、上記第 1 の防水プロテクタと上記第 2 の防水プロ  
テクタとの間を水密状態にして空気層を形成する接合手段と、  
を具備することを特徴とするカメラシステム。

【請求項 2】

無線通信手段によって画像データを送信可能なカメラを収納するための第 1 の防水プロ  
テクタと、  
上記第 1 の防水プロテクタに対して着脱自在であり、上記カメラにより送信された画像  
データを受信して記録するデータ記録手段を収納可能な第 2 の防水プロテクタと、  
上記画像データの無線送信のために、上記第 1 の防水プロテクタと上記第 2 の防水プロ  
テクタとの間を水密状態にして空気層を形成する接合手段と、  
を具備することを特徴とする防水プロテクタ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】カメラシステム及び防水プロテクタ

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記の目的を達成するために、本発明によるカメラシステムにおける第1の態様は、無線通信手段によって画像データを外部に無線送信可能なカメラと、上記カメラを収納可能な第1の防水プロテクタと、上記カメラにより送信された画像データを受信して、記録可能なデータ記録手段と、上記データ記録手段を収納可能であり、上記第1の防水プロテクタに対して着脱自在な第2の防水プロテクタと、上記画像データの無線送信のために、上記第1の防水プロテクタと上記第2の防水プロテクタとの間を水密状態にして空気層を形成する接合手段とを具備することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記の目的を達成するために、本発明による防水プロテクタにおける第2の態様は、無線通信手段によって画像データを送信可能なカメラを収納するための第1の防水プロテクタと、上記第1の防水プロテクタに対して着脱自在であり、上記カメラにより送信された画像データを受信して記録するデータ記録手段を収納可能な第2の防水プロテクタと、上記画像データの無線送信のために、上記第1の防水プロテクタと上記第2の防水プロテクタとの間を水密状態にして空気層を形成する接合手段と、を具備することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】